

Title	東京歯科大学研究年報 : 平成12年度
Journal	東京歯科大学研究年報, (): -
URL	http://hdl.handle.net/10130/372
Right	

1. 英 語 研 究 室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

助 教 授 草野 重行 十九, 二十世紀のイギリス詩の研究 (A 93 1450 1)

助 教 授 柴家 嘉明 歯科衛生士のための歯科英語教育 (A 99 1450 1)

2. 成果の概要

1) オーエン

日本で翻訳のほとんどされていない戦争詩人オーエンの代表作の訳を試みた .

2) 英語の名詞

主研究テーマの基礎となる英語の名詞に関する考察を共同研究者と行った .

論 文

1. 草野重行：ウィルフレッド・オーエン 訳詩集(1)，東京歯科大学 教養系研究紀要 17，18～23，2001．
原著 A93-1450-1
2. 柴家嘉明，ヘーゼリッグケイメレデイス⁽¹⁾：英語の名詞に関する一発見，東京歯科大学 教養系研究紀要 17，24～31，2001．原著 A99-1450-1 (1)立正大学

2. 独 語 研 究 室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

助 教 授 伊 東 正 夫 ウィーンおよび周縁域のモデルネにおける Phantasie と主体性の諸相

講 師 清 水 真 哉 ヨーロッパ（特にドイツ語圏）の交通問題 NGO

2. 成果の概要

1) ウィーンおよび周縁域のモデルネにおける Phantasie と主体性の諸相

アドルノの「無」の概念を批判的にとらえることによって、ベルクの「微細な移行」の音楽を支える「沈黙」の特質を明らかにした。

ローマの劇作家ピランデッロをウィーンおよびプラハ・モデルネの潮流に位置づけ、『作家を探す六人の登場人物』の舞台における想像の位相について考察した。

現在、上記のテーマに関連して、主客不可分の現実性一般の在り方、またそれが開示される様態について、主としてヘルツマノフスキー、ホフマンスタールの作品を媒介にして考察している。

2) ヨーロッパ（特にドイツ語圏）の交通問題 NGO

ヨーロッパにおける道路交通参加者間の道路使用权をめぐる葛藤、およびその調整過程において交通 NGO の果たしている役割について調査している。

学会抄録

1. 清水真哉：ヨーロッパにおける道路空間の再分配について，日本環境学会第26回研究発表会(神戸大学)予稿集，109～112，2000.(日本環境学会第26回研究発表会，神戸市)

3. 数 学 研 究 室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教 授 菅野 隆三 統計学におけるノンパラメトリック法 (A79 1200 1)
混合分布に関する統計的推測 (A81 1200 2)
歯科学データの統計解析 (A90 1200 3)

2. 成果の概要

1) 歯科学データの統計解析 (A90 1200 3)

質問紙調査の回答データから個人の歯科的健康度を示す指標を作成するときの手順は、一般に次のようになる。①指標作成に用いる質問項目の選定。②各質問項目へのウエイト付け。③質問項目内の各回答カテゴリーへスコアを与える。④歯科健康指標の算式をきめる。このような手順で指標を作成すると、事前に回答データを統計的に分析して種々の情報を得ておくことが大切である。ここでは、回答データを統計的に分析することにより、指標作成の各段階における問題点に関して、どのような情報が得られるかを調べてみた。また、質問項目へのウエイト付けと回答カテゴリーのスコア変動パターン、および指標算式におけるべき変換を種々に設定したときに、歯科健康指標の分布状態がどのように変わるかをシミュレーション的に検討した。これらの検討結果は、実際の指標作成に当たって参考になるものと思われる。なお、説明を具体的にするために、ここでは、本学社会歯科学研究室が平成6年度に都内の某企業で実施した質問紙調査より、50代男性169名のデータを例として用いた。

東歯大教養系研究紀要 16, 1~25, 2000.

4. 物理学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

助 教 授 望月 隆二 加速度系における量子輻射 (A97 1240 1)

講 師 池上 健司 Black Hole に落ち込む粒子からの輻射 (A97 1240 2)

2. 成果の概要

1) 加速度系における量子輻射 (A97 1240 1, A97 1240 2)

Minkowski 真空中で等加速度運動している検出器が励起し、かつ粒子を放出するときにエネルギー保存則が成立していることを調べた。この事実は、検出器がある軌道に沿って運動していると考えていた今までの方法では隠されていた。これを明らかにするため、Minkowski 座標の式で書かれたある検出器モデルを提唱した。このモデルでは検出器に固定した軌道を与える代わりに、検出器のハミルトニアンは古典的なポテンシャルを含むようにしてある。遷移振幅は質量無限大で今までのものと一致するが、そのなかにも反跳が残っていることがわかる。

東京歯科大学教養系紀要 17, 6 ~ 17, 2001

3. 教育講演等教育に関する活動

教育研修

受講者	年月日	研修会名	主催者	開催地
望月 隆二	2000.7.8 9	第37回大学教員懇談会 目標見 えぬ大学教育	財団法人 大学セミナー・ハ ウス	東京

論 文

1. Mochizuki,R., Suga,T.⁽¹⁾: Energy Conservation and the Unruh Effect, 東京歯科大学教養系紀要 17 , 6 ~ 17 , 2001. 原著 A-97-1240-1 (1)千葉大・大学院・自然科学研究科

5 . 化 学 研 究 室

プロフィール

1 . 教室員と主研究テーマ

- 教 授 小島 晃 超分子の構造と溶液内の構造 (A97 1310 4)
 生体分子の非線形現象と麻酔薬 (A97 1310 5)
- 助 教 授 小林 暉子 含希元素鉱物の化学的研究並びに日本産鉱物の若干種についての再検討
 (A76 1310 1)
- 講 師 中尾 和三

2 . 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
小島 晃	超分子の構造と溶液内の構造	信州大学理学部化学 科構造・計測講座	松本市	尾関寿美男
小島 晃	生体分子の非線形現象と麻酔薬	千葉大学理学部化学 科物質情報化学研究 室	千葉市	秀島 武敏

6. 生物学研究室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授 高畑 悟郎 下等脊椎動物の消化管における内分泌現象の形態学的研究 (A74 1380 3)

助教授 中村 弘明 下等動物の生体防御系に関する細胞・組織の比較形態学的研究 (A97 1380 5)

2. 成果の概要

1) 下等動物の生体防御系に関する細胞・組織の比較形態学的研究 (A97 1380 5)

メタクリレート樹脂切片による酵素組織化学法を、小型魚類(メダカ)の組織に適用し、その有用性を検討した。メダカの造血器官である腎臓を摘出・固定し、ペルオキシダーゼ(POx)陽性白血球の検出を試みた結果、包埋過程(樹脂の重合過程)を低温に保つことによって、好結果を得た。合わせて、異なった飼育温度下における、メダカ腎造血組織のPOx陽性細胞の占める割合についても検討した。

東京歯科大学教養系研究紀要 17, 1 ~ 5, 2001.

3. 学外共同研究

担当者	研究課題	学外研究施設		
		研究施設	所在地	責任者
中村 弘明	下等脊椎動物の生体防御系に関する細胞・組織の比較形態学的研究	北里大学水産学部水族病理	岩手県三陸町	渡辺 翼

論 文

1. 中村弘明, 菊池慎一⁽¹⁾: 樹脂切片を用いたメダカ造血組織のペルオキシダーゼ染色, 東歯大教養系研究紀要 17, 1~5, 2001. 原著 A97-1380-5 (1)千葉大・海洋センター

単行図書

1. 古田恵美子⁽¹⁾, 中村弘明, 山口恵一郎⁽²⁾: 著分担: 生命を支えるマクロファージ (a)マクロファージの系統発生 32~53頁, 文光堂, 東京, 2001. A97-1380-5 (1)獨協医大・解剖,(2)獨協医大・医総研

学会抄録

1. 中村弘明, 八幡詩乃⁽¹⁾, 小川瑞穂⁽¹⁾, 菊池慎一⁽¹⁾: ハゼ科海産魚ドロメの腹壁に存在する孔の構造と異物処理, 日本比較免疫学会第12回学術集会講演要旨, 30, 2000.(日本比較免疫学会第12回学術集会, 東京) A97-1380-5 細形研 (1)千葉大・海洋センター
2. 菊池慎一⁽¹⁾, 八幡詩乃⁽¹⁾, 中村弘明: 金魚における腹腔に注入された異物の腹壁からの排出, 日本比較免疫学会第12回学術集会講演要旨, 30, 2000.(日本比較免疫学会第12回学術集会, 東京) A97-1380-5 細形研 (1)千葉大・海洋センター

7. 体 育 学 研 究 室

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

助 教 授 中村 光博 スポーツ活動の動機について (A98 1590 1)
バスケットボール, タイムアウトを考える (A99 1590 1)

2. 成果の概要

1) スポーツ活動の動機について (A98 1590 1)

バスケットボール部の男子部員から聞き取り調査を実施, バスケットボールをはじめた動機と年齢について調査した.

2) バスケットボール, タイムアウトを考える (A99 1590 1)

98年度教養系研究紀要において, タイムアウトの使用状況について発表. 99年度教養系研究紀要において, 試合への影響などについて, タイムアウトを考え発表. NBA のタイムアウトがどのように使われているかを調査した.